



あさひ山友会による松枯れ木の伐採作業

あさひむら

議会だより

急がれる松くい虫防除対策!



朝日村の松くい虫被害は平成28年に発生以来、急速に広がり、今後ますます拡大が予想されます。議会でも再三取り上げ対策を求めるも有効手段がないのが現状。朝日の豊かな自然、林産業を守るためにも、他市町村との連携も含め早急な対策が求められる。このまま松枯れが広がれば、朝日産まつたけが食べられなくなる近未来がありそうで困ったものです。



もくじ

- ・ 9月定例会 30年度決算状況 2
- ・ 総務産業・社会文教委員会報告 3
- ・ 9月24日 臨時会報告 4
- ・ 行政監査「村長への提言」 4
- ・ 一般質問 村政を問う 5～9
- ・ 地区の皆さんとの「懇談会」報告 9
- ・ 議員活動報告・日誌 10～11
- ・ 村民の声、ちょっと訪問他 12




●「議会だより」第34号
発行日/2019年10月31日
発行/朝日村議会
〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村
大字古見1555-1
TEL.0263-99-2001(代)
FAX.0263-99-2745
Eメール:gikai@vill.asahi.nagano.jp
印刷/川越印刷株式会社

一般会計

歳入決算額 **37億 132万円** (前年47億 548万円 △21.3%)
歳出決算額 **35億3,094万円** (前年44億8,850万円 △21.3%)
実質収支 **1億1,818万円** (前年 1億3,242万円 △10.8%)

平成30年度村のお金の使い道! (一般会計目的別決算概要)

新庁舎工事終了に伴い決算額は前年度より大幅減少

議会費 4,339万円 議員報酬、議会運営費 	総務費 4億7,586万円 開村 130 周年事業 役場新庁舎関係 (備品購入等) バス対策、選挙他	民生費 6億592万円 子育て支援、老人福祉、国民健康保険、障がい者支援、社会福祉協議会補助、保育所運営等
衛生費 1億5,258万円 健診事業、感染症対策 ごみ処理、清掃費、環境衛生 簡易水道特別会計繰出	農林水産業費 1億6,066万円 有害鳥獣対策、農業委員会、地方創生事業(アグリ、木質資源)、林業振興、土地改良、松くい虫対策他	商工費 1億709万円 商工会、地方創生事業(観光)プレミアム商品券、ゲストハウススキー、特別会計繰出場他
土木費 5億1,496万円 向陽台道路整備、村道維持補修 除雪・融雪剤散布委託、河川改修下水道特別会計繰出他	消防費 1億1,797万円 広域消防負担金 消防団運営 防火水槽整備他 	教育費 2億4,848万円 小中学校の維持管理、公民館お夏まつり、図書館・資料館美術館他
公債費 7億2,768万円 地方債 (借入金) の元利償還金	諸支出金 3億4,662万円 財政調整基金算等 10 種基金積立	労働費 1,105万円 勤労者福祉資金融資制度
		災害復旧費 1,868万円 林道施設 

人事案件

朝日村教育委員会教育委員

上條 利春氏 (再任)

清澤あゆみ氏 (再任)

【任期】 令和元年 10 月 1 日から

令和 5 年 9 月 30 日まで

諮問

人権擁護委員

上條 一雄氏

【任期】 令和 2 年 1 月 1 日から

令和 4 年 12 月 31 日まで

※人権擁護委員は、人権擁護委員法の定めにより、村長が議会の意見を聴いた上で推薦した者を、法務大臣が委嘱する。

補正予算

令和元年度一般会計は 5,530 万円を追加

【主な補正内容】

- 松本山雅ホームタウン化に伴う新規出資 300 万円 松本山雅との協働による地域づくり事業の推進。
- 防火水槽設置事業 2,350 万円 村内 4 箇所 (小野沢新田上・新田下、西洗馬向陽台・土合三叉路) への容量 40m³の耐震性防火水槽の新設
- 障がい者福祉費 311 万 法改正によるシステム改修および障がい児の福祉サービス
- 地方創生事業 (アグリ) 174 万円 事業推進に伴う委託料の増
- 三俣沢保安林分筆測量業務委託 800 万円 キャンプ場保安林解除に向けた分筆測量
- 子育て支援センター施設管理費 71 万円 わくわく館の雨漏り修繕費

平成30年度決算認定 新庁舎建設工事終了 歳入・歳出とも前年度対比21.3%減!

9月4日(水)に招集された令和元年朝日村議会9月定例会では、下記の議案等について慎重審議し、全案件を原案どおり可決し、9月18日(水)に閉会しました。

- ・ 条例 7 件 (消費税改定に伴う税条例他)
- ・ 道路認定 1 件 (古見 57 号線、西洗馬 87 号線)
- ・ 決算認定 7 件 (平成 30 年度決算)
- ・ 補正予算 5 件 (令和元年度予算)
- ・ 人事案件 2 件 (教育委員)
- ・ 諮問 1 件 (人権擁護委員)
- ・ 財産取得 1 件 (29 人乗りマイクロバス)
- ・ 発議 1 件 (私立高校公費助成)
- ・ 請願 1 件、陳情 3 件、要望 1 件



決算審査意見(一部抜粋)

代表監査委員 上條良久
議会監査委員 清沢正毅

平成 30 年度は朝日村第 5 次総合計画の最終年度であり後期基本計画に沿った財政運営がされました。決算額は歳入・歳出とも前年度比 21.3% の減少となりました。減少の主な要因は新庁舎完了に伴うものです。実質公債費比率は 7.6% (前年度対比 0.5% 増) です。今後、比率は徐々に増加する見通しのことから、中長期的な財政計画の見直しを含め、引続き財政の健全化に取り組まれます。

請願・陳情・要望

＝ 総務産業委員会報告 ＝

委員会に付託された請願1件、陳情2件、要望1件及び前回からの継続審査2件を9月10日慎重に審議しました。

- 請願第1号 生活環境保全林事業の目的に沿った三俣森林公園作業棟施設設置条例の整備を求める請願書

森林に対する関心が薄れる中、村の林業や環境整備、森林に係わる機会や知識等、意欲ある活動者が積極的に森林啓発活動に取り組む拠点として、作業棟施設を整備した事業目的に沿った利活用ができるよう条例の整備が必要であると認め全会一致で採択としました。

- 要望第1号、朝日村大博覧会の助成

「朝日村を元気に」を合言葉に、オール朝日の取り組みで住民、村内企業、団体等が協力参加、企画し、未来につながるイベントとして村施設を利用し、出演者、実行委員会ともボランティアで開催し、村の活性化発展に寄与する事業として助成が必要であると認め採択としました。

(陳情2件と前回からの継続審査2件は沖縄県及び基地問題であり、慎重を期すため継続審査としました。)

総務産業副委員長 上條昭三

＝ 社会文教委員会報告 ＝

委員会は9月10日に開催し慎重審査した結果は次の通りです。

- 私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書 全員一致を持って「採択」と成りました。

審査の主な経過を申し上げますと、次のような内容です。

今年度朝日村からは中信地区の私立高校7校には24名の高校生が通学しております。高校生に於いては私立高校の果たす役割は多様性を備え、重要といえます。しかしながら、教育環境を維持していくための学納金・授業料は高額で保護者の皆様は、公立高校より多額な教育費用負担が課せられております。

これらから、私立高校への経常費補助金「就学支援金」制度による保護者負担軽減・私学助成金の継続は必要と考え、この陳情を全会一致で採択としました。

意見書は国や県に提出いたします。

社会文教委員長 林 邦宏

副村長小池 貴浩氏選任同意 「企画財政課」 新設の条例改正案を可決



副村長

小池貴浩氏 (50)

【任期】令和元年10月1日から
令和5年9月30日まで

9月24日に招集された第2回臨時会に小林村長は業務の質とスピード化を図るとして、選挙公約にもあった副村長の人事案を提出。村長提案の中で任期を2年半とし、任務は第6次総合計画の策定、人事評価制度の策定、条例未交付問題など山積する問題があり、その行政経験を生かして貰いたいと説明。これに対して議員からは、任期が2年半では短いのではないかと、女房役として村長の在任期間中はやって欲しいなど意見が出たが、村長から状況によっては再任も考えるとの答弁もあり、選任について全員で同意をしました。選任されたのは木曾地方事務所、人事活用チーム、健康福祉政策係長、経営推進課長補佐、広報県民課補佐などを歴任した県職員小池貴浩氏 (50) です。

臨時会ではこの外に、総務課が所轄した予算編成や財務、総合企画、土地利用計画、統計などを分離して新しく「企画財政課」を新設する条例改正案が提出され、全会一致で可決しました。

行政監査結果を受け

条例改正未交付問題に関する提言村へ提出

議長 塩原智恵美

条例未交付の問題について議会は8月7日村の監査委員から行政監査結果報告を受けました。その後直ちに「条例未交付事件調査委員会」を設置し、行政監査結果報告に基づいた提言書をまとめ、全議員総意のもと、8月13日小林村長へ提出しました。監査結果報告にあった「行政としてのガバナンス欠如」と「思考停止した組織」を重く受け止め、今回の件はいかなる理由があるにしても、行政は村民が理解するに足る十分な説明と対応が不可欠で、一日も早い村民との信頼回復を願って提言したもので報告も求めました。主旨は次のとおりです。

一 条例未公布に関わった全職員が「覚えがない」。また条例について改正など何回も見直しの機会があったが施されなかった。これら事実が公務員としての基本的資質が問われる重要問題である。村長は原因を明らかにして再発防止の対応を求める。

二 条例未公布について、時の任命権者は中村前村長である。中村前村長の任命責任と監督責任は極めて重い。これら関係者の非違行為をどう扱うか客観的な判断が求められる為、第三者を含む「職員懲戒審査委員会（仮称）」を至急設置し

て対応されたい。

三 今回の問題について全職員に情報（行政監査結果報告・議会の提言）を公開し、村が講じる再発防止策も共有し、非違行為防止に尽くされたい。そして、一刻も早く終止符を打ち、本来あるべき正常な村の姿に戻し村民への信頼回復を望む。

（提言書7項目の抜粋 詳細は議会ホームページに掲載）



条例未交付問題の三俣森林公園作業棟



村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢を質すものです。

ここが聞きたい 8議員18項目

高橋良二議員

- 1 地区組織と防災部会さらに各役員について
- 2 朝日村消防団について

清沢正毅議員

- 1 指定管理対象観光施設の利用状況及び今後の利用促進施策について
- 2 防災訓練の課題

高橋廣美議員

- 1 国・県の環境問題への取り組みに対する当村の対応について
- 2 県道新田バイパスの古見区間の早期実現と通学路の安全確保について

林 邦宏議員

- 1 クマ出没の対応は

中村文映議員

- 1 旧おひさま保育園の利活用について
- 2 中央公民館の耐震改修・アスベスト対策について
- 3 朝日村における「引きこもり」調査結果と取り組み、「8050問題」への取り組み状況について

上條昭三議員

- 1 松くい虫防除対策について
- 2 朝日村のカラマツの利用計画について
- 3 稲作の継続について

北村直樹議員

- 1 地域分権・地域主体活動について
- 2 村内と隣接する地域境の松くい木について

上條俊策議員

- 1 公共施設の管理等に伴う今後の財政は
- 2 森林整備について
- 3 村は農業につき今後どう考えているか



高橋良二 議員

地区組織と防災部会、さらに各役員について

総務課長 検討・見直しに向けて努力していく

地区役員選出は、少子高齢化、人口減少の進む中、何ら見直しもなく、古いままの体制です。役員は多岐にわたり、地区によっては、人材不足で何度も役員をやっています。その為、役員になりたくないの地区に入らない、離婚話や、朝日村から出て家を建てる等の話を聞いています。以前の議会で防災組織と所属地区問題で『当村の防災組織は、地区と地区防災部会が一緒の「重複型」、組織づくりが容易であり、長が一人で仕組みが分かりやすい。しかし、地区から離れた場所に転居した場合、災害時に安否確認、救出など共助が出来ない等のことを考えると、地区と防災部会を別に作ることを検討したい。また、地区未加入者を災害時にそなえ、近隣の地区に加入するよう村で推進していきます。』(平成29年9月定例会総務課長答弁)

とと思うが、防災部会との協議の進捗状況は。

総務課長 地区長会で検討したが、具体策には至っていない。地区未加入者の近隣地区への加入進捗状況も同様。

意見 難しい問題ではあるが、地区統合・合併等、推進する最終時期と思うが、村として真剣に考えて欲しい。
朝日消防団について

問 29年の答弁は前向きで評価できない。検討の必要があると考えます。

問 そのでお聞きします。村の種々の役員で、見直しのできる役員はなにか、(統廃合)の検討等。
総務課長 検討はしてきたが、まだ検討の必要があると考えます。



松本消防大会 ラッパ吹奏準優勝!

Q: 観光施設主要4施設の直近5年間 (H26~H30) の利用状況は? (単位:人)

施設名	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
スキー場	24,545	20,953	23,079	21,249	19,650
コテージ	278	1,38	1,216	1,282	1,487
キャンプ場	2,604	4,000	3,035	2,684	4,949
ゲストハウス	6月5人	7月47人	8月102人	(内海外17人)	



清沢正毅 議員

観光施設の利用状況と今後の利用促進施策について

Q: 協定書にある毎月の業務報告書が未提出なのはなぜか?

A: 村からも要求しなかった、お詫びするしかない。今後協定書に基づいた管理に取組む。

Q: 年度事業報告に基づき、十分な協議を重ねて費用対効果も含め経営方針を定め、翌年の経営計画に反映させるべき?

A: 業者との協議は進めているが経営計画は定めていない。費用対効果は簡単に答えられないが、スキー場は村を活性化していく大きな財産

であるため、今後しっかりとした経営方針を定めていく。

●防災訓練の課題について

Q: 住居が離散しており明確に安否確認ができない。村としての確かな安否確認方法が検討されているのか?

A: 防災会議でも標準的な避難安否確認マニュアルの必要性も望まれている。次回訓練までに作成していく。

Q: 炊き出し訓練でビニール袋にわざわざ無洗米を入れて炊くより、窯で炊いてむすびにした方が効率的と考えるがいかがか?

A: 災害時は水の確保が重要、ビニール袋で炊いた水は何度も使える、濁った水でも炊き出し可能。次回からは事前に内容を地域の皆さんに説明していく。

Q: 避難訓練で避難所に集まった以降避難者がただ待っている無駄な時間があった。避難者にも今どんな訓練が行われているか理解できる訓練シナリオにしたらどうか?

A: 各防災会独自の訓練の為実態が把握できていない。9月に反省会を予定しているため実態確認を行い今後の課題としたい。



ウッドチップper講習会開催

問 G20のエネルギー環境の閣僚会議が軽井沢町で開催され、県は国内外の自治体に呼びかける「長野宣言」を発表、更に「県環境政策推進条例」を考えている。このような動きに対して、当村は環境問題にどのようなビジョンを持って取り組むのか。

答 当村は長野宣言の中の「恵まれた農村地域の自然環境の保全と循環型社会の推進」に焦点を当て第三次朝日村環境基本計画と第六次総合計



高橋廣美 議員

国・県の環境問題への取り組みに対する当村の対応は

画と平行して策定していく。具体的には資源ごみの減量化と有機資源化を目的とし、ウッドチップperの導入、可燃ごみの減量化のためにコンポストの購入補助をしている。今後は環境審議委員会の中で住民アンケートも含め環境計画の基本方針を検討していく。

問 県道新田バイパスの古見区間の早期実現と通学路の安全確保。

答 この道路は通勤、通学道路として重要だ。今年度地区住民地権者の集会を開き、全員の同意を得られたことで、今後は十月以降県主催の説明会が開かれる予定。今後新道が開通すると交通量の増加が予想され、既存の道路も含めて、更に道路環境の整備を県に要望していく。





林 邦宏 議員

クマ出没時の危機管理 マニュアルの策定は

産業振興課長 長野県の策定したクマ管理マニュアルに従い村単独では策定しない。

問 御馬越地区の皆様と議会議員との懇談会が開催された際、地区の皆様から、例年より早い度重なるクマの出没に生命・身体の安全確保に不安と緊張の日々であった。オスグマが捕獲駆除される迄は神経質になっており、危機感をあらわにしていた。迅速に対処できる仕組み作りが必要と考えるが如何か。

産業振興課長 4月下旬から益過ぎまで十数件の目撃情報が寄せられ告知放送で注意喚起した。捕獲オリ等で4頭捕獲し緊急駆除を実施している。

問 クマの通り道になっている鎖川上針尾橋上流の河岸段丘崖沿い・河畔林・河床等の偽アカシアなど伐採して環境整備の早期実施を御馬越地区民は切望している。

産業振興課長 上針尾橋上流は松本建設事務所が偽アカシアを継続的に伐採して整備している。昨年度からは森林造り県民税の活用事業で今後も実施していく計画。



繁茂する河畔・河床林



中村 文映 議員

旧おひさま保育園 サテライトオフィスにできないか？

村長 活用方法が決まっていないので、一考し否定するものではない。

問 旧おひさま保育園の活用ですが、コミュニティセンター、譲渡、村営住宅地建設など方針が度々変更されているが、具体案が明確でなければ耐震改修して「サテライトオフィス」「テレワークセンター」にしてはどうか。近頃の「働き方改革」により、在宅ワークは拡大すると思われ

ます。朝日村にもIT環境を整えた仕事場を整備すれば、事業者・起業家の村内移転・移住、村外で仕事をしている子息のUターン、子育て中の女性の在宅ワークの場など、若者の働く場として活用出来ると考えます。旧おひさま保育園は年数は経ているがデザイン性にも優れ、広い園庭、天井が高い遊戯室、適度な部屋数など、サテライトオフィスには最適な建物と思います。

答 向陽台団地の集会施設、西洗馬区の公民館、鎖川右岸の防災拠点芸術家やクラフト作家活用など検討されてきた経緯がある。また、住宅事情から村の土地なので公共住宅建設も検討されているが最終案は決まっていないので、提案を否定するものではない。今後施設利用を検討



デザインも素敵な高い天井がある遊戯室外観

- ・サテライトオフィス
 - …企業の本社・官公庁の本庁舎から離れた場所に設置されたオフィス。サテライトII衛星
- ・コワーキングスペース
 - …事務所スペース・会議室などを共有しながら独立した仕事を行う、ワークスタイル。
- ・テレワーク…在宅勤務

していきたい。
意見 これからの村を担う若い職員を中心に先進地・施設を研修視察頂き、サテライトオフィスとしての活用を検討して頂きたい。



上條昭三 議員

朝日村のカラマツを使い、大工が 建てるタイニーハウスの販売を

問 朝日村の森林のゾーニングを

しました、重要なのはゾーニングしたカラマツを伐採して住宅用材として売ることなのです。最近「木材を使い大工が建てるタイニーハウス」に人気が出ていると知りました。タイニーとは「とても小さい」の意味で、タイニーハウスとは、シンプルで小屋のようなサイズの家のことで、少数での居住に適し、内部はキッチン、トイレ、シャワーなど生活に必要な設備が設置されます。私はこのタイニーハウスを朝日村のカラマツでモデルハウスを作り販売することを提案いたしますが如何でしょうか。

答 タイニーハウスの提案については木質資源利用検討委員会にて検討する。

問 稲作の継続について質問をします、鎖川下流の小野沢から松本市今井にかけての花見田で稲作をやめている家が下古見に10軒以上あります。理由は身体問題とか機械が壊れて新調が困難であるとかあります。現在は他人に無料で耕作を依頼しています。また、ほかにも朝日村で稲作を継続できずに困っている家が何軒もあると思います。そこでアグリビジネスセンターの法人化を機に花見田ほか朝日村の稲作をその法人で継続できないか検討してください。

答 人員の確保等、アグリビジネスセンターでの直接の作業受託は検討を要する。

問 松くい虫被害、6月からは疑いのある松については順次伐倒燻蒸処理をして後に検査をすることにしました、そのためには自前の伐倒燻蒸要員を十分に確保してゆく必要があるかと思えます。現在の伐倒燻蒸要員は何名でしょうか。

答 本年度は村内の山友会（6名）で伐倒燻蒸処理を行った。今後は増



新しいライフスタイルタイニーハウス



北村直樹 議員

地域分権・地域主体活動について 村長 地域分権「絆支援」を今後実現させていきたい

問 前村長が目指した地域分権（絆

支援）について、新村長のお考えを伺うと同時に平成28年より協議されてきている総合審議会において総論をもとに行政は今後どのような形で地域分権を推進していくのか？総合審議会では「地域で対応できることは地域自ら行うことが望ましい。制度を実施していく中で諸々課題もある」との総括結果より今後の対応を伺いたい。

村長 現在実施している地域活動「外山・内山水路保全会等」まさに地域分権の一つのモデルである。補助金等を活用して小さな事業でも各地区の課題に合致するようであれば地域分権を推進して参りたい。

課長 地域の負担にならないような体制作りが今後必要である。村長と協議し取り組んでいきたい。

村内に隣接する地域境の松くい木について

問 本年に入り、松くい木の被害木が相次に発見されている。当村内の松くい木は伐倒燻蒸処理が進んでいるが、隣接する、2市1村の境は無

法地帯となっている。地籍や地権者費用からみて伐倒・燻蒸処理が停滞している現状下で、今後村としては境の松くい木をどのように対応されるのか？またこれまでの2市1村への働きかけ特に松本市へはどのような状況であったか？

課長 本年6月18日に松本市長に対し隣接する境地域の枯損木の迅速な対応の要請を行った。松本地籍の被害木は対応すること。当村内の被害木は当村の予算を投じて迅速に対応を図って参りたい。



地域分権
パンフレット



上條 俊策 議員

公共施設の管理等に 伴う今後の財政は

総務課長 計画作成中ですぐ回答できない。



公共施設は「住民の福祉を増進する目的を持ってその利用に供するための施設」と自治法第244条第1項に定義されています。村では、朝日村公共施設等総合管理計画を作成しています。

本計画は、朝日村における将来人口や財政の見通し等をもとに長期的な視点に基づいて策定するものであり、個別施設ごとの計画等に係る基本的な方針を示すもので、計画の期間は中長期的な取組が必要であることから、平成28年度を初年度とし平成47年度までの20年間を計画期間とし計画期間中は進捗管理や内容の充実を図りつつ随時見直しを行うこととなっており、計画の対象となる施設は、大きく2種類に分類されます。一つ目は公共施設としての建物・二つ目は道路、橋梁、上水道、下水道、公園等のインフラ資産で、第5次総合計画に基づき、詳細に策定されています。又、朝日村公共施設白書には、財政状況等も網羅しさらに詳細に示されています。

●中央公民館 アスベスト他2億5千万円の見込み時期未定。
●旧おひさま保育園 使途未定、5千万円予算。
●旧役場庁舎(含む 関連建物) 残すか解体か不明、費用見積り依頼中。
●今後 公共施設・インフラ資産に投資・保守・修繕等に掛かる費用の概算額は試算しているが、28年策定の朝日村公共施設等総合管理計画、朝日村公共施設白書には、今後40年間に掛かる額は312億円で年平均8億円と計画されており、人口減少の中、村税収入も30年度は、6億円余といった財政状況で、今まで財政の心配など無用といわれてきたが、本当に大丈夫なのか、計画策定に際し実情にあった計画、無駄のない、村民のための施策を計画し、計画を確実に実行して頂くことが、将来若者に過度な負担を掛けず存続して行ける道と考える。

2、森林整備について

●第5分団詰所 来年度移転新築、建築費用4140万円の予定。

3、村は農業につき今後どう考えているか

●第5分団詰所 来年度移転新築、建築費用4140万円の予定。

議会と地域の皆さんとの懇談会



地区の皆さんとの懇談会のようす

議会では全地区のご意見をお聞きし、村政運営に反映させ住民サービス向上に寄与したく懇談会を行いました。今回は、御馬越・大石原・御道開渡地区です。沢山のご意見・要望をお聞きすることができました。ご意見の一部を紹介させていただきます。

*鳥獣防護柵の管理が地区に任せられているが、費用も結構掛り、高齢化も進み非常に負担である。村管理にするか、当面費用補助を考えて欲しい。
*松くい虫対策の村の対応が遅い、条例でも作って対応策強化を望む。
*社協のいいせの運転サービスはお金を徴収していることから、白ナンバー利用は違法ではないか。
*ゲストハウスの利用実態を知りたい。

たい。又、「コテージの利活用」の活性化を望む。

*条例未公布事件の責任はどうなるのか?、退職したから責任追及なしでは納得できない。十分に検討し結果を住民に知らせて欲しい。

*消防団員の不足により存続が危惧される。前村長は消防団については、消防団の問題で何も言えないというスタンスであったが小林村長はどうされるのか。
*鎖川上流の立木を早急に伐採して欲しい。災害時を考えると心配と不安。

*道路の補修箇所指摘と早急に対応を。特にマンホールの周辺の損傷が多い。
*基幹産業といわれる農業を村はどう考えているか。農地の問題・後継者の問題・将来の作付物の研究・模索等々

こつこつとご意見を他にも沢山いただきました。議会はこれらを村当局に伝えると共に、結果報告を要請いたしましたので、地区の皆様には、報告させていただきます。尚、十月・十一月中に3地区にお伺い致しますので宜しくお願ひ申し上げます。

(上條俊策)

議員 活動報告

現地を目で見て 聞いて参加して

議員活動日誌のとおり議員は、沢山の諸会議・行事・研修及び視察を行っています。このコーナーでは、主だった活動についてご報告させていただきます。

議員草刈りボランティアに汗

村議会では去る7月11日
議員による環境整備活動の



草刈りボランティア

一環で中俣せせらぎ公園として整備されている一帯で、公園全体の草刈りボランティアを行いました。あいにくの小雨の中、午後2時から10人の議員全員が参加して2時間ほど行いました。公園美化活動のボランティアをして少しでもきれいな田舎作りに協力できればと思い、皆で作業にはげみました。夏の観光シーズンに朝日村の自然をきれいな公園で楽しんでいただきたいと思いました。

また7月27日の鎖川愛護会の草刈りボランティアにも参加しました。

(上條昭三)

町村議会 議員研修会報告

去る七月二十九日、下諏訪町において、町村議会議員研修会が行われました。第一部は明治大学教授、牛山久仁彦氏による「町村議会議員のあり方と定数・報酬をめぐる論点」というテーマでした。今日、二つの意味で議員報酬・定数が問われており、一つは、議会が住民に見えず「議会不要論」の立場からその削減が主張される。もう一つは、「住民自治の根幹」としての議会を作用させるべく、その条件として報酬・定数を考えるというものでした。

今日のテーマでもある議員のなり手不足にも係わる大

変難しい問題です。わたしたちは村民に負託を受けた議員として、少なくとも、村民目線に軸足を置き、住民に見える存在でありたいと思えました。

第二部は、滋賀大学客員研究員 提中富和氏の「条例の読み方・政策条例の考え方」というテーマでした。条例とは、地方公共団体が国の法律とは別に定める自主法のことです。国の法律の範囲での規定であるが、条例は住民に関連が深く、行政の道しるべでもあり、その役割の重要性は、再認識させられるものであった。我々議員もより条例の仕組みを認識しながら活動する必要があると感じた研修でした。

(高橋廣美)

森林・林業林産業活性化研修会報告

去る8月20日、安曇野市豊科公民館で長野県内17市19町33村の市町村議員290名程の参加で研修会が開催された。県内の森林資源の6割は民有林で、その約6割は針葉樹でその内約4割はカラマツが占めている。このカラマツの有効活用が今後の当県課題です。伊

那市と安曇野市の森林・林業の取り組みが紹介された。身近な安曇野市の地区と行政が連携した里山の利活用事例が興味を引いた。安曇野市里山再生計画の愛称「ごごろう」は5つのプロジェクトがあります。

★里山について学ぶ里山学校
★安曇野の木をつかう、安曇野



全県から集まった多くの町村議員の皆さん

議会活動日誌

7月

- 1 月 松塩地区広域施設組合議会運営委員会(松本市)
- 2 火 議会だより編集委員会
- 3 水 鉢盛中学校組合議会7月臨時会(山形村)
- 4 木 篠ノ井線松本地域活性化協議会(安曇野市)
第1回民生委員推薦会
- 7 日 松本消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会(塩尻市)
- 10 水 議会全員協議会
松本広域連合議員協議会及び第1回臨時会(松本市)
- 11 木 **議員草刈ボランティア**(中俣せせらぎ公園)
- 12 金 朝日村松くい虫防除対策協議会/松くい虫講演会
- 17 水 農地中間管理機構関連農地整備事業小野沢地区くりあげ場工
区実行委員会設立総会及び権利者総会
- 19 金 松塩地区広域施設組合第1回臨時会
- 22 月 朝日村風食防止対策協議会
- 23 火 朝日村農業推進支援組織設立検討協議会/第2回民生委員推
薦会
- 24 水 清沢県議会議長との懇談及び県道松本新田バイパス(古見側)
整備要望(県庁)
- 25 木 環境審議会
- 27 土 鎖川河川愛護会「夏の清掃活動」
- 29 月 議会全員協議会/**長野県町村議会議員研修会**(下諏訪町)/農地
中間管理機構関連農地整備事業小野沢地区本郷工区実行委員
会設立総会及び権利者総会
- 30 火 県道新田松本・土合松本・松本空港線整備促進期成同盟会総会
- 31 水 議会だより第33号発行日

8月

- 3 土 お夏まつり
- 5 月 松塩筑木曾老人福祉施設組合8月臨時会・全協/決算審査
- 6 火 議会運営委員会/上松町議会行政視察受入
- 7 水 議会全員協議会/松本地域正副議長懇話会(松本市)
行政監査結果報告
- 8 木 議会運営委員会/議会全員協議会/第3回民生委員推薦会
松塩地区広域施設組合第1回環境保全協議会
- 9 金 東筑摩郡村議会議長会臨時総会
- 13 火 行政監査結果報告に基づく提言
- 14 水 地区対抗野球大会
- 15 木 朝日村成人式
- 20 火 **森林・林業・林産業活性化研修会**(安曇野市)
- 21 水 議会運営委員会
- 22 木 農業振興地域整備促進協議会
- 23 金 大石原地区懇談会/県町村監査委員表彰・研修会
- 24 土 御道開渡地区懇談会
- 25 日 かたくりの里まつり
- 30 金 議案検討会/議会だより編集委員会
- 31 土 御馬越地区懇談会

9月

- 1 日 地震総合防災訓練
- 2 月 **東筑摩郡村議会議員大会**
- 4 水 議会定例会開会本会議・全員協議会
- 5 木 議会全員協議会
- 10 火 議会常任委員会
- 13 金 議会定例会本会議一般質問
- 14 土 朝日小学校運動会
- 18 水 議会定例会本会議・全員協議会/朝日村戦没者慰霊祭
- 19 木 朝日村農業推進支援組織設立検討協議会
朝日村総合計画審議会
- 21 土 あさひ保育園運動会/朝日村大博覧会V
- 22 日 森のこびと祭り
- 24 火 議会第2回臨時会
- 26 木 鉢盛中学校白峰祭
- 28 土 塩尻市制六十周年記念式典
- 30 月 長野県町村議会議長会政務調査部会

11 あさひむら 議会だより

材利用促進

★里山でたのしむ、里山保全
体験学習

★里山の恵みをいかす、木質ハ
イオマン利用促進

★松をまもる、松枯れ対策実
践・松昔山の再生

朝日村も87%が山林、全国
朝日会の三重県の朝日町や愛
知県の友好親善都市・西尾市
都市部の森林環境贈与税の活
用を積極的に働き掛け身のた
けにあつた森林管理施策を構
築したいものです。(林 邦宏)



来賓として挨拶をする清沢英男県議会議長

東筑摩郡村議会議員大会

9月2日東筑摩郡村議会議
員大会が筑北村で開かれま
した。この大会は東筑5村が
共通して抱える課題や個別の
課題について、各村から議題
を提出し5村全議員の決議を
以て、県と国に要望していく
ために毎年開催されておりま
す。朝日村が要望したのは「県
道新田松本バイパス古見区間
の早期実現」です。今年の春
供用開始となった中組バイパ

スもこうした取り組み
が一翼を担ったと言えま
す。大会には県選出の国
會議員や清沢県會議長、
県の関係機関が来賓で
出席し、東筑5村の要望
を共有していただきました。
今後は県議会と地
元選出国會議員に要望
活動を行い、実現を図つ
てまいります。

(塩原智恵美)



大会で議長を務める塩原智恵美議長と
議員提案をする斎藤勝則議員

村民の声

僕はやまめに恋をした!!



朝日村地域協力隊
せせらぎ山女魚園
山田 喜孝

朝日村に住み始めて1年余りが過ぎた。還暦を迎えての見知らぬ土地での一人暮らしは、正直不安があった。しかし、そこは住めば都。村民の方、特に地域の皆さんの温かさには本当に感謝したい。そして、今は数千尾のやまめ達と暮らしている。物言わぬ魚と暮らす...?といぶかる方も見えると思うが、そんな事はない。やまめ達は僕に物申してくる。『おなか为空いた』『池に泥が溜まって気持ち悪い』『陽が当たって暑い』等々。僕はやまめ達は実に雄弁なのだ。彼等に少しでも気分良く暮らして貰う為、僕の毎日はとても忙しい。

20代の頃、フライ・フィッシングを覚えた。若かった僕は、初めて手にしたやまめの魚体の美しさにほれぼれとした。僕は、やまめに恋をした。同時に、キャッチ・アンド・リリースという概念も身に付けた。釣り上げた魚を極力殺さずに、河に戻す事である。

時を経て、今の僕はその概念とは真逆の所に立っている。僕がこの地で生きてゆく為に、やまめを殺し続けなければならぬ。僕は、やまめの命を金に換えている。だから僕はやまめを焼く時絶対に気を抜かない。真剣勝負をする。沢山の方に食べてもらい旨いと思ってもらう。出来れば「美味しいー」の一言を言ってもらいたい。僕のヤマメ達の晴れ舞台なのだ。少しは命を頂いた罪滅ぼしにはなるだろう。このジレンマを持ち続け、日本一やまめを真面目に焼く男を目指してゆく。



朝日村大博覧会でやまめを焼く山田さん



水槽を泳ぐやまめ



美味しそうなやまめの塩焼

9月下旬JA朝日営農センターを訪問した。午前8時前、次々に生産者から野菜が運び込まれます。朝日村の野菜は市場から高く評価され、地元市場はもとより、四国九州方面にも出荷されています。最近、他の産地に比べ、朝日では若い農業後継者が育っており期待は大きいとお聞きしました。



野菜を積み込み中の大型トラック

今お困りのことは?の問いに対しては「アルバイト等の労働力不足」とのことでした。アグリサポートの充実など、今後の労働力不足を支援する体制の必要性を感じた訪問でした。

（高橋廣美）

我がむら再発見! ちょこっと訪問

議会だよりに新しいコーナーを設けました。村内のいろいろな施設や催し物を議員が訪問し、取り組みや要望を聞くコーナー

第二弾「JA朝日営農センター」

秋野菜の出荷最盛期!!日量1万2千ケース



次々に運び込まれるレタス



真空予冷庫から出る野菜

朝日村議会へ ご意見をお寄せください

発行責任者 議長 塩原智恵美
編集委員 委員長 中村文映
副委員長 高橋廣美
委員 林 邦宏
清沢正毅
北村直樹



▲こちらから朝日村議会のホームページをご覧いただけます

近年、気候変動というこ とばを良く聞きます。特に環 境問題の中で、地球温暖化と その影響を包括的に気候変動 と呼ぶことが多いようです。 最近、当村においても松くい 虫被害、マツタケの不作等、 我々の身近にも地球温暖化の 影響が迫っているのではよう か。小泉環境大臣の誕生もあ り、これから環境問題には目 が離せないですね。

（高橋廣美）

編集後記